

平成 27 年度 第 2 回湖西市男女共同参画審議会

会議録

記録者 市民協働課 吉田

- ▶ 日 時: 平成 27 年 10 月 23 日(金) 10 時 00 分～12 時 00 分
- ▶ 場 所: 湖西市民活動センター 2 階 大会議室
- ▶ 出 席 者
委 員: 池田恵子、山下美恵子、岩崎典子、末吉由佳、伊藤小夜子、三浦光雄、笠木正憲、
原道也、五味道隆
事 務 局: 企画部長、市民協働課 (課長、課長代理、主任)
そ の 他: (株)サーベイリサーチセンター 静岡事務所 田原
(次期湖西市男女共同参画プラン策定業務委託業者)
- ▶ 資 料: 次第、男女共同参画に関する意識調査結果 (抜粋) 【資料 1】、男女共同参画に関する
市民意識調査結果 【資料 1-2】、次期男女共同参画プラン体系図(案) 【資料 2】、次期男
女共同参画プラン体系図(案) 【資料 2-2】、施策体系 (現行プラン体系図) 【資料 3】、
「女と男プランこさい」目標指標一覧 【資料 4】

▶次第

1. 開会
2. 企画部長あいさつ
3. 報告事項
(1)男女共同参画に関する市民意識調査結果について (事務局より)
4. 協議事項
(1)次期男女共同参画プラン案について
5. その他
6. 閉 会

1. 開会

2. 企画部長挨拶

3. 報告事項

- (1)男女共同参画に関する市民意識調査結果について (事務局より)

【各課の報告内容は資料 1、1-2 参照】

委託業者の分析結果として、傾向として前回調査時から大きな変化があったわけではない。

◆審議会委員の意見

会 長: 例えば問 12「役割を固定的に考えることについて」というのは若干の変化だが、問 13
「男女の地位が平等になっているか」などの問では前回と比べて考え方も変わっていて、

実際に平等感というものを感じるし、男女共同参画の方向に若干向いている、総体で見ると数値以上の変化を感じます。

委員： 調査結果は市民にどういう形で伝えますか。ウェブの公開などは考えていますか。

事務局： 湖西市のウェブサイトや次期プランに掲載し公開をする予定です。公開資料の作成方法については、皆さんのご意見を頂きながら検討させていただきます。

委員： 概要版があるうえで、詳しく知りたい人は詳しいものを見る形がよいと思います。

委員： 公表はパブコメ前がよいと思います。

委員： 外国籍市民へのアンケート結果は。

事務局： 前回比較のために、22年度同様日本人住民を対象に調査をしました。

会長： どの時点かの調査で設問や対象者について前回比較をあきらめて解消しないといけな
いと思います。

委員： 回収率について、調査票が届いた後に回答を催促するはがきが来ると回収率が上がる
と思います。そのような取り組みはしましたか。

事務局： 他でも意識付けて回収率を上げるために催促のはがきをやる場所があります。今回
はやっていません。

委託業者： 回収率向上のはがきについては、お礼兼督促状というもので全員に送るものです。こ
の効果は大体3～4%と5%にいかない程度の回収率の上昇となります。男女共同参画
の調査として、今回の34%は高いほうで、40%になったらかなり高いです。

4. 協議事項

(1) 次期男女共同参画プラン案について

【資料2-2、3参照】…事務局説明

次期プランの体系については、湖西市男女共同参画推進条例の基本理念に沿った形で作成
する予定。

◆審議会委員の意見

○体系図案について

委員： 計画の期間が分かりません。→ プラン名もしくはプラン説明中で明記します。

会長： (6)男女の生涯にわたる心身の健康への配慮について、これまでの計画を見てみるとが
ん検診の受診率などが出されています。すごく大事なテーマだとは思いますが、国の男女共
同参画基本計画では、基本がすべてのカップル・夫婦と個人が自分たちの子どもの数・
出産の間隔を出産するときに責任を持って自分たちで決めて、そういうことに必要な情
報と手段を得ることができることを目指しているものだ、ということになっている。産
みたい時に産みたい数を選べるようなそういう支援がメインになってきます。(6)はもう
少し広くて、例えばスポーツの振興や未婚者も含めて年代ごとに男性女性の健康を支援
していくことですね。男性と女性によって若干健康上への違いがある、メタボは男性の
方が値が大きいとか、性別によって違う健康状態への配慮、そういうことも中心になっ
てきていますが、一番の主眼は産みたい時に産めることを支援しましょうという事です。
がんが前面に出ているのはちょっと違和感があり、医療的な制度でもできるところであ
って、男女共同参画で取り上げるのは違うという感覚があります。国の第3次基本計画
を見てみると、生涯にわたる心身の健康の指標でどんなものが挙げられているかとい
うと、妊娠出産に満足している人の割合、妊娠11週以下で届出を出す人の割合、何ヶ月に

もなって対応ができていないような人がいないか、常時診療体制が確保されている小児救急医療の数、不妊治療を受けられる際に患者が専門のカウンセリングを受けられる割合、不妊専門相談センター、妊娠中の禁煙禁酒、がんの受診率も指標としては入っています。乳がんです。そんなところが主要になっています。食育の推進もあります。(6)は今までの計画とはガラッと変わってくると思います。

委員： 現行プランのように7つの基本理念の前に3つの柱（くくり）があると分かりやすいと思います。

委員： (3)あらゆる場面で…のあらゆるを具体的に変えたほうがよいと思います。

会長： 具体的に家庭、職場、地域社会、教育の4つにするのがよいと思います。

委員： (6)男女の生涯にわたる心身の健康への配慮の具体的施策など、この先5年間の変化を見据えた視点が必要になると思います。

委員： セクシャルマイノリティの問題は、性の理解ということを考えて人権尊重だと思います。人権の部分で理解をきちんと進めないと暴力やハラスメントに繋がったり心身の健康・不調になるので(6)男女の生涯にわたる心身の健康への配慮より(1)男女の人権の尊重に入れていくべきだと思います。

会長： ここまで出た意見を検討、反映する形で体系図としてはこれでよいことを確認。

○重点施策について

会長： アンケートから(5)家庭生活と社会生活の両立は重点をおきたいと思います。(1)男女の人権の尊重はすべてに関わることであって基本形のものだと思います。アンケートを見ると、例えば防災の点で避難環境や備蓄を要求するニーズは多いが、組織において女性が前に立って責任を負うことが大事であるとの回答率は非常に低い、そういう体制が長続きするかというと、それはすごく問題があると思います。同時進行で責任のある立場に女性が増えていって一緒に責任を負うというふうに変わっていかないと換わらないと思います。また、政治や制度の面で男性が優遇されていると思う人が数として増える傾向にあることから(4)男女が対等に参画する機会の確保は大事だと思います。

委員： アンケートから家庭と職場で考えた場合、職場での男女平等の方が問題意識が高いと思います。そこに重点を置くという視点で(1)男女の人権の尊重、(4)男女が対等に参画する機会の確保、(5)家庭生活と社会生活の両立だと思います。

○プランの名称について

事務局： 現在の名称「女と男プランこさい」を引き継がず、「第3次湖西市男女共同参画推進計画」を本題にしたいと思います。

委員： 現在の名称は何のプランなのか分かりづらいので、「第3次湖西市男女共同参画推進計画」とすることは賛成です。男女共同参画という言葉を知っている人には分かるし知らない人には伝わりにくいと思います。

委員： キャッチフレーズの「男女がいきいき輝くまち・こさい」があるとイメージが湧きやすいと思います。

会長： 正式名称は「第3次湖西市男女共同参画推進計画」にして、キャッチフレーズを必ず名称と共に常に置き、分かりやすくするということが良いですね。

▶その他

委員： 幼稚園・保育園で行っている教室等について、どのようなものを使っているかを見せていただけたらと思います。

委員： 市民に対してのモデルケース・プランとして、市役所内での取り組み・数値・目標値などを分かりやすくオープンにしてほしいと思います。

5. その他

今後の改訂スケジュール及び第3回審議会開催時期について確認。

6. 閉会